

市町村職員研修機関所長等連絡会議

令和7年11月25日、市町村職員中央研修所（以下「市町村アカデミー」という。）において、公益財団法人全国市町村研修財団（以下「財団」という。）主催で「市町村職員研修機関所長等連絡会議」を開催しました。

この会議は、財団と各都道府県広域研修機関及び各都道府県市町村振興協会等との一層の連携を図ることを目的としたもので、全国各地から36団体42名の皆様にご来所いただきました。

会議に先立ち、財団の植村哲常務理事が開会のあいさつをし、続いて「第一部」として、「全国市町村研修財団による市町村職員の研修に関する取組」と題し、市町村アカデミー及び全国

市町村国際文化研修所（以下「国際文化アカデミー」という。）の「令和8年度研修計画（概要）」、「市町村の人材育成（研修）に関する調査」及び「巡回アカデミー」について説明しました。

最初の議題では「令和8年度研修計画（概要）」について、市町村アカデミー及び国際文化アカデミーからそれぞれ説明を行いました。

市町村アカデミーからは、定年引き上げや人材確保の観点から市町村組織でのシニア人材の活用に関する研修を新設することや、DXなどデジタル化に関し、市町村職員の能力水準の向上や職務ニーズに対応するため研修内容の充実を図ること、さらには、講義資料の電子データ事前提供や研修期間中におけるPC利用の原則化等の本格的な実施により、研修効果を向上させていくことなど、重点的に取り組む事項等についての説明を行いました。

国際文化アカデミーからは、人材マネジメントを通じた組織力向上のための研修の充実をはじめ、地方自治体のDXを具体的に推進するためのDX関連研修、多文化共生・地域共生社会の実現を目指した研修のほか、多様な主体による連



植村哲 財団常務理事 あいさつ



早川卓也 市町村アカデミー研修部次長、他団体幹部から説明

携・協働のまちづくりを推進するための研修の拡充、さらに北米・欧州・アジアへの3つの海外研修、災害対応、地域が持つ個性を活かした産業振興の研修などの実施等について説明しました。

続いて2つ目の議題として、財団、市町村アカデミー及び国際文化アカデミーが全国の市町村等を対象に例年行っている「市町村の人材育成（研修）に関する調査」等に関して、実施時期の変更について説明するとともに、回答への協力について依頼させていただきました。

3つ目の議題である巡回アカデミーについては、はじめに、市町村アカデミーでの研修受講が困難な地域の市町村職員等を対象に、当該地域の広域研修機関と連携して、各地域において専門的なカリキュラムを短期研修として提供するという趣旨を説明しました。その後、令和7年度の実施状況として、10月に長崎県市町職員研修センターとの共催で実施した「災害対応研修（基礎編）～危機に直面したときの適切な行動を考える～」の実施結果について、受講生の声を交えた報告を行い、さらに、共催団体から、実際に実施された感想を述べていただきました。



森志朗 公益財団法人長崎県市町村振興協会
長崎県市町職員研修センター長



佐藤嘉高 公益財団法人愛知県市町村振興協会
研修センター主査

また、12月には、愛知県市町村振興協会研修センターとの共催で「今と未来の少子化対策・子育て支援」研修を実施予定であり、ご出席の共催団体からごあいさついただきました。

なお、令和8年度巡回アカデミーについては、兵庫県及び熊本県で開催する予定であることを説明し、それぞれの共催団体からごあいさつをいただき、最後に、令和9年度巡回アカデミーの実施に向けたスケジュール等について説明しました。

その後「第二部」として、「市町村職員の研修の在り方に関する意見交換」と題し、ワールドカフェ方式による課題解決フォーラムの体験を行いました。「人材育成」、「研修」をキーワードにテーマを設け、班ごとに自由に意見交換を行いました。

（※ワールドカフェとは、リラックスした雰囲気の中で、少人数グループで対話を重ねるコミュニケーション手法です）